

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立朝霞高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒の学力や生活実態を日常的に把握し、課題を収集しようとしている。学校を取り巻く環境の変化などをより広く把握し、学校の置かれた状況や課題を的確に分析した上で、進学重視型単位制システムなど学校の特色や強みを踏まえた学校像となるように、更に検討を重ねていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえた重点目標が四つの柱として設定されている。長らく同じ目標が続いている分野もあるため、生徒の変容等を勘案しながら中期的視点で学校が取り組むべきことを整理し、日々の教育活動の指針となる具体的な目標となるように更に検討を重ねることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートと分掌・年次のシートを連鎖させて作成するなど、重点目標達成のための取組が進められている。「重点目標、評価項目、具体的方策」の連鎖がやや不十分であるので、学校自己評価システムが十分機能するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学力向上委員会で教職員研修会を実施し、教員の指導力の向上や生徒の家庭学習の習慣化・定着化を図るための取組をしている。評価指標に方策の達成状況を確認しにくい部分があるので、達成度に正しく反映できる具体的なものにし、連鎖をより明確にして取組を検証することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	企画委員会、職員会議において、校長が現状に関する教職員の共通理解を図ろうとしている。学校の教育力を一層向上させるために、校長がリーダーシップを的確に発揮して、中・長期的なビジョンを明確に示し、全教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて学校全体として組織的に取り組むように改善していただきたい。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの実施方法などの工夫を行い、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を丁寧に分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			